

指導者 T1 ○○ ○○

T2 ○○ ○○

展開場所 体育館

1 単元名 表現リズム遊び ～ きたさわランドへ レッツゴー！ ～

2 単元について

(1) 一般的な特性

① 機能的特性

- ・身近な動物や乗り物などの題材の特徴を捉え、そのものになりきって全身の動きで表現したり、軽快なリズムの音楽に乗って踊ったりする楽しさに触れることのできる運動である。
- ・心と体を解き放し、イメージやリズムの世界に没入してなりきって踊ったり、互いのよさを生かし合って仲間と交流して踊ったりする楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

② 構造的特性

- ・仲間とのコミュニケーションが必要な運動である。
- ・自分のイメージや感じたことを自由に表現する探求型の運動である。
- ・自由に動きを工夫して楽しむ創造的な学習を進められる運動である。
- ・ひと流れの動きで即興的に踊ることと簡単なひとまとまりの動きにして踊ることで構成される運動である。

③ 効果的特性

- ・自分の感じたことを表現したり、リズムに乗って全身で踊ったりすることにより調整力や持久力を高めることができる運動である。
- ・即興的な身体表現能力やリズムに乗って踊る能力、コミュニケーション能力を培うことができる運動である。

(2) 児童から見た特性

- 友達といろいろな動きを見付けて動いたり、模倣したり、調子を合わせたりすることで楽しむ運動遊びである。
- 軽快なリズムに乗って体全体を使って踊ったり、これまで乗ったことがある乗り物や乗ってみたい乗り物などに变身したりすることが楽しい運動遊びである。
- 題材の特徴を捉え、回ったり、後ろ向きに進んだり、急降下したりなど、動きやスピードに変化をつけて楽しむ運動遊びである。
- △ 表したい様子や動きを思い浮かべることを苦手と感じている児童には、体全体を使って大きな動作をすることが難しい運動遊びである。

(3) 児童の実態 (第1学年 男子○名 女子○名、第2学年 男子○名 女子○名、計○名)

知識・技能		学年	十分できる	まあまあできる	できない
	馴染みのある曲を聴いて、リズムに乗って自由に踊ることができる。(観察)	1年	○名	○名	○名
		2年	○名	○名	○名
	何かになりきって踊ることができる。(海の生き物、動物、遊園地の乗り物、忍者など)(観察)	1年	○名	○名	○名
		2年	○名	○名	○名

思考・判断・表現		学年	はい	どちらかといえば はい	どちらかといえば いいえ	いいえ
	がんばることを決めて運動していますか。 (アンケート)	1年	○名	○名	○名	○名
		2年	○名	○名	○名	○名
	友達のよいところ(動き)を見つけて、真似して踊ることができますか。 (アンケート)	1年	○名	○名	○名	○名
		2年	○名	○名	○名	○名
主体的に学習に取り組む態度	体育の学習は好きですか。 (アンケート)	1年	○名	○名	○名	○名
		2年	○名	○名	○名	○名
	運動に進んで取り組んでいますか。 (アンケート)	1年	○名	○名	○名	○名
		2年	○名	○名	○名	○名
	音楽に合わせて、体を動かすことは好きですか。(アンケート)	1年	○名	○名	○名	○名
		2年	○名	○名	○名	○名
	変身して何かになりきることは好きですか。(アンケート)	1年	○名	○名	○名	○名
		2年	○名	○名	○名	○名
知識	遊園地には、どんな乗り物がありますか。 (アンケート)	1年	・ジェットコースター○名 ・メリーゴーランド○名 ・ゴーカー○名 ・コーヒーカップ○名 ・観覧車○名 ・バイキング○名 など			
		2年	・ジェットコースター○名 ・メリーゴーランド○名 ・ゴーカー○名 ・空中ブランコ○名 ・コーヒーカップ○名 ・観覧車○名 ・バイキング○名 など			
	それぞれの乗り物は、どのような動きをしますか。また、どんな音をイメージしますか。 (聞き取り)	1・2年	・ジェットコースター 動き：上下、回る、波のよう、急カーブ、速く遅く 音：カッカカッカ、ガタガタ、ビューン ・コーヒーカップ 動き：回る、誰かと一緒に乗る、目が回る、移動する 音：くるくる、シュー、ふらふら、くるんくるん ・ゴーカー 動き：右や左、止まる、競争、カーブ、真っすぐ進む 音：ブーン、ブンブン、キキッ、シューン ・バイキング 動き：揺れる、ゆりかごやブランコに似ている 音：ビュンビュン、ぶらんぶらん、ヒューン など			
	おばけ屋敷には、どんなおばけがいますか。 (アンケート)	1年	・ろくろ首○名 ・提灯おばけ○名 ・一つ目小僧○名 ・がいこつ○名 ・いったんもめん○名 ・ゾンビ○名 ・おばけ○名 ・のっぺらぼう○名 など			
		2年	・がいこつ○名 ・いったんもめん○名 ・提灯おばけ○名 ・口裂け女○名 ・一つ目小僧○人 ・からかさおばけ○名 ・ろくろ首○名 ・のっぺらぼう○名 など			
	それぞれのおばけは、どのような動きをしますか。また、どんな音をイメージしますか。 (聞き取り)	1・2年	・ろくろ首 動き：くねくね、まっすぐ、右や左、首をからめる 音：によろよろ、ぐによぐによ、びよーん、スー ・がいこつ 動き：ロボットみたい、骨が取れそう、人を脅かす 音：ガタガタ、ボキボキ、ガシャガシャ、ボキボキ ・いったんもめん 動き：風に乗る、トイレットペーパーみたい 音：ひらひら、ヒュー、ぺらぺら、ふわー ・提灯おばけ 動き：舌が長い、伸び縮みがある、笑っている 音：びよーん、パタパタ、ぱくぱく、チカチカなど			

本校では、1・2年合同で体育学習を行なっている。両学年の児童とも、活発で体を動かすことを好み、体育科の学習を楽しみにしている児童が多い。また、休み時間には友達と声を掛け合って進んで外遊びをする姿が見られる。

「表現リズム遊び」の「リズム遊び」においては、児童が聴いたことのある曲を取り上げ、教師や友達の動きを模倣したり、新しい動きを見ついたりして体を動かすことを楽しんできた。「表現遊び」では、これまでに「いろんな国でへんしん！」という題材で「海の生き物」「動物」「忍者」など、いろいろなものになりきって踊る学習をしてきた。それぞれの特徴をとらえ、ふさわしい動きを見つけながら全身で楽しく表現することができた。

また、実態調査を行う中で、音楽に合わせて体を動かすことや変身して何かになりきることが好きな児童が多いことが分かった。音楽に合わせて体を動かす活動では、笑顔で踊っており、終わった後には「楽しかった！」「もっとやりたい！」と口にする児童もいた。また、変身して何かになりきって踊る表現遊びでは、一人での活動から徐々に複数名でのかかわりも見られ、イメージを広げながらさらに工夫を加えて表現しようとする様子が伺えた。しかし、自分で動きを考えることができず立ち尽くしてしまったり、一つの動きだけを単調に繰り返したりすることに終始する児童も数名みられた。

遊園地に関する実態調査においては、乗り物について、ジェットコースターやコーヒーカップなど、全身を使って表現しやすい乗り物が多くあがった。おばけ屋敷のおばけについては、様々な種類のおばけや妖怪について知っていることが分かった。中には、アニメのキャラクターから連想されるものや最近の都市伝説に出てくるようなものなどもあった。

(4) 指導観

本単元は、学習指導要領「F 表現リズム遊び ア 表現遊び イ リズム遊び」から、具体的で変化があり動きを捉えやすい「遊園地」を扱う。

児童の実態から、以下のことに留意して指導していきたい。

- ・低学年では、表現リズム遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、「表現遊び」と「リズム遊び」の両方の遊びを豊かに体験することで、即興的な身体表現能力やリズムに乗って踊る能力、コミュニケーション能力を培う。そのために、単元を通して毎時間「表現遊び」と「リズム遊び」の両方を組み合わせて授業を構成していく。
- ・単元の終末に様々な遊園地の乗り物やおばけになりきって踊る「きたさわランドへ レッツゴー！」という発表活動を設定し、児童に示すことで、児童の「乗り物やおばけになりきってみんなで楽しく踊りたい」という意欲を高めていく。
- ・扱う題材については、実態調査を参考に児童にとって馴染みが深くイメージしやすいものを選定し、興味関心がもてるようにしていく。児童が連想する遊園地には、様々な種類のもの（乗り物、おばけ屋敷、パレードなど）があることが分かったため、より4つのくずし（「空間（場）のくずし」「体のくずし」「リズムのくずし」「人間関係のくずし」）を意識して表現遊びができるものに焦点を当てることとした。また、児童がもつ題材のイメージを広げるために、絵本の読み聞かせや映像資料の鑑賞などを行う。
- ・学び合いや教え合いといった共感的なコミュニケーションがより多く生まれ、表現の幅が広がることを期待し、1・2年混合のペアやグループで活動する。
- ・イメージカルタは、①即興意欲や多様な動きが想起できる内容、②4つのくずしが意識できる内容とする。
- ・児童の表現の幅を広げるために、4つのくずし*1を意識した言葉かけに努める。その際、低学年という発達段階を考慮し、児童にとって分かりやすい言葉や動きを促すオノマトペを使うようにする。また、教師のリードでねらいに合った動きやおさえないポイントを確認する活動を十分に行う。教師も一緒に踊ったり、手本となるような児童の動きを紹介したりすることで、動き方が分からない児童も安心して活動できるようにしていく。

（*1……研究紀要P8「4つのくずしを意識した言葉かけ例」参照）

3 単元の目標

- ロックやサンバなどの軽快なリズムに乗って踊ったり、いろいろな遊園地の乗り物などの特徴を捉えて全身で踊ったりすることができるようにする。（知識及び技能）
- 軽快なリズムの特徴を捉えた動きや、遊園地の特徴的な様子などを出し合い、楽しく踊るための動きを見付けたり、友達のよい動きを見付けて伝えたりすることができるようにする。（思考力・判断力・表現力等）
- 「きたさわランドへ レッツゴー！」の表現リズム遊びに進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。（学びに向かう力、人間性等）

4 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとまり ごとの評価規準	運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、題材になりきったりリズムに乗ったりして踊ろうとしている。	身近な題材の特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えようとしている。	運動遊びに進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりしている。
単元の 評価規準	①題材の特徴や様子について理解したことを言ったり、実際に動いてみせたりしている。 (観察) ②題材の特徴や様子を具体的な動きで捉え、それを簡単な話にして、全身の動きで即興的に表現することができる。 (観察) ③軽快なリズムの音楽に乗って、へそ(体幹部)を中心にリズムに乗って踊っている。(観察)	①題材の特徴的な様子を出し合い、その中から行いたい様子を選んだり、ふさわしい動きを見付けたりしている。 (観察) ②よい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 (発言・観察)	①題材になりきって踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする運動遊びに進んで取り組みようとしている。 (観察・学習カード) ②決まりを守り、誰とでも仲よく交流しようとしている。 (観察) ③場の安全を確かめたり、使った用具の片付けをしたりしている。 (観察)

5 指導と評価の計画

時間	1	2	3	4	5 (本時)	6
0 15	オリエンテーション ・学習内容、進め方の確認 ・場づくりや安全の約束についての確認	安全の確認、準備運動（ほぐしの運動） ◎リズム遊びを楽しもう。				
20	ウォーミングアップ ・体ジャンケン ・ミラー ・多様な動き ・「だるまさんが転んだ」 ・〇〇に変身！	◎表現遊び 【やってみる】 みんなで乗り物に変身しよう！ 教師のリードで、そのものになりきって踊る。		【やってみる】 みんなでおばけに変身しよう！		きたさわランドへ レッツゴー！
		アトラクション （ジェットコースター、コーヒーカップ、ゴーカー、メリーゴーランド、パイキングなど） 回る、揺れる、上る、急降下など。スピードを変化させて 【ひろげる】 ・2人組で場を移動しながら、即興的に踊る。 ・「大変だ！〇〇だ！」に合わせて急変する場面のお話を作って踊る。 ・互いの動きを見せ合い、友達のよい動きを見つけて、伝える。	おばけ （ろくろ首、がいこつ、いったんもめん、かさばけ、ゾンビなど） 倒れる、ひねる、飛び出す、奇怪な動きなど。急変する動き。誇張とくり返し。 【ひろげる】 ・2人組で場を移動しながら、即興的に踊る。 ・「大変だ！〇〇だ！」に合わせて急変する場面のお話を作って踊る。 ・互いの動きを見せ合い、友達のよい動きを見つけて、伝える。		・お気に入りの遊園地の乗り物やおばけを選んで、「大変だ！〇〇だ！」のお話を作って即興的に楽しく踊る。 ・新しい題材に挑戦する。 ・グループで作った動きを見合せて、よかったところを発表したり、真似をしてみたりする。	
40	振り返り→整理運動→整列・健康観察・挨拶→片付け					単元のまとめ
知	③観察		②観察		②観察	①観察
思		①観察		①観察		②発言・観察
態	③観察	②観察	①観察	②観察	①観察	

※知…「知識・技能」、思…「思考・判断・表現」、態…「主体的に学習に取り組む態度」

6 本時の指導（5/6）

研究仮説（2）

学習過程、教材・教具、資料、4つのくずし（①空間（場）のくずし②体のくずし③リズムのくずし④人間関係のくずし）の提示を工夫することにより、一人一人に技能が身に付き、表現リズム遊びのもつ楽しさを知る児童が育つであろう。

本時までの学習と同様に、1時間の前半に「リズム遊び」、後半に「表現遊び」を組み合わせる授業を行う。「リズム遊び」では、軽快なリズムに乗って弾んだり、回ったりねじったりしながら様々な動きを取り入れて踊れるようにする。また、「表現遊び」では、前時までに学習してきたおばけの特徴を捉えた動きをもとに、「大変だ！○○だ！」などの急変する場面を入れて簡単な話にして表現する活動を行う。イメージカルタを次々とめくって、友達と色々な動きを考えて即興的に踊る活動を行うことで、表現リズム遊びのもつ楽しさを知る児童が育つであろう。

（1）目標

- ◎ 題材の特徴や様子を具体的な動きで捉え、それを簡単な話にして、全身の動きで即興的に表現することができるようにする。 【知識及び技能】
- よい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】
- 題材になりきって踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする運動遊びに進んで取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

（2）展開

過程	時間	学 習 内 容 と 活 動	指導・支援(○)、評価(☆)	用具・資料
はじめ	12分	1 集合、挨拶をする。 2 ほぐしの運動を行う。 ○ 多様な動きを扱い、体をほぐしていく。 ・だるまさんが転んだ 3 リズム遊びをする。 ○ 軽快なリズムに乗って、全身で楽しく踊る。 1 曲目：プリプリスキヤット 2 曲目：サンバDE ジャネイロ	○ 児童の健康状態を確認する。（T2） ○ 児童と一緒に動きながら、楽しい雰囲気の中で心と体のほぐしができるようにする。（T1・T2） ○ 楽しくほぐしの運動を行っている児童を称賛したり、全体に紹介したりする。（T1・T2） ○ 軽快なリズムの曲に合わせて、へそ（体幹部）でリズムに乗った踊り方を実際に示す。（T1・T2） ☆ 軽快なリズムに乗って踊る運動遊びに進んで取り組もうとしている。（観察） ○ リズムに乗って踊ることが苦手な児童には、「4つのくずしを意識した言葉かけ例」*1を参考に助言したり、簡単な動きを示しながら、一緒に踊ったりする。 ○ 児童の健康状態を確認する。（T2）	・CD
		4 表現遊びをする。 ○ イメージカルタを使って、即興的に踊る。	○ イメージカルタを見て、二人組で即興的に踊ってみよう促す。（T1） ○ 支援が必要な児童の近くへ行き、声掛けをしたり、一緒に踊ったりする。（T2）	

なか	25分	5 学習のねらいを確認する。	○ 本時は急変の場面を取り入れて踊ることを確認する。(T 1)	
		「たいへんだ！〇〇だ！」のじけんをおこし、からだぜんたいをつかっておどろう。		
ま と め	8分	6 「大変だ！〇〇だ！」の話をつくって踊る。	○ イメージカルタを見て、この後どんな事件が起こりそうかを聞き、全体で踊る。(T 1)	・ 掲示物 ・ CD ・ タンバリン
		○ 教師のリードにより、そのものになりきって踊る。	○ 「大変だ！」のポイントを話の山場にして、その前後を簡単な動きで付け加えるよう助言する。(T 1)	
		○ 2人組でイメージカルタを取り、それをもとに急変する場面を考えて即興的に踊る。	○ オノマトペや具体的な動きが連想できる言葉かけを行う。(T 1)	
		○ タンバリンの合図で、次のカルタに移動し、リーダーを変えながら何度も即興的に踊る。	○ 教師も一緒になりきって踊る。(T 2)	
		〈イメージカルタの一例〉	○ 次のカルタに行くときは、なるべく遠いところにあるカルタを取りに行くよう助言する。(T 1・T 2)	
		どこまでも どこまでもくねくね びよ〜ん スーッ  がいこつダンス！！ ボキボキ♪ ガチャガチャ♪  いっぽんあしで びよん びよん びよ〜ん カッカッカッ…  みーつけた！  ふわふわ ういている いったんもめん ふわ〜り ふわ〜  たたんだり ひろがったり パタパタ びよ〜ん 	○ 次のカルタへは、前の動きのまま移動するよう伝える。(T 1)	
		○ 友達の工夫した動きを見合ったり、伝え合ったりする。	☆ 題材の特徴や様子を具体的な動きで捉え、それを簡単な話にして、全身の動きで即興的に表現しようとしている。(観察)	
		○ 友達のよいところを発表する。	○ 即興的に表現することが難しい児童には、「4つのくずしを意識した言葉かけ例」*1を参考に助言したり、一緒に考えて踊ったりする。	
		○ 友達の工夫した動きを見合ったり、伝え合ったりする。	○ 近くのペア同士で見合い、互いのよさを認め合ったり、伝え合ったりするよう促す。(T 2)	
		○ 友達のよいところを発表する。	○ 始めと終わりは止まった姿勢という約束を確認する。(T 1・T 2)	
			○ 全体で取り上げ、4つのくずしにつながる動きを、具体的に称賛する。(T 2)	
		7 本時の振り返りを行う。	○ 支援の必要な児童へ助言する。(T 1)	・ 学習カード
		○ 学習カードを見ながら振り返りを記入する。		
		8 整理運動、健康観察、挨拶をする。	○ 児童の健康状態を確認する。(T 2)	
			○ 次時の活動を予告する。(T 1)	

* 1 ……本冊子 添付資料集 P9 「4つのくずしを意識した言葉かけ例」 参照